

教科 特別活動	学年 第5学年
---------	---------

単元名	数時	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)学級や学校における生活づくりへの参画					
係・当番の活動をがんばろう	各学期 1	・学級での生活に必要なものとしての当番活動や、自らの得意や良さを生かして学級生活を楽しく便利にする係活動について、分担しながら協力的に進める。 ・活動内容を紹介し合い、一人一人が学級の中で役立っていることに気づき、認め合う中で集団意識を高める。 ・スムーズに取り組んだり、より充実させたりして、学級目標に近づけるため創意工夫を重ねながら、主体的に活動する。			
クラスのめあてをたてよう	1	・どんな学級にしたいかについて一人一人の願いを出し合い、みんなの合意による学級目標をつくることで、集団としてまとまる意識を高める。 ・理由を明確にして自分の考えを伝えたり、友だちの考えの良さを受け留めながら、ふさわしい内容になるよう話し合う。 ・同じ目的のために意見を交換し、協力していく良さに気づき、集団で決定したことをみんなで実践していく意欲をもつ。	・みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 ・合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。
仲よし班活動を楽しもう	2	・毎月の「仲よし班遊び」や、「交流給食会」が充実するよう、縦割り班での年間を通した活動の見通しをもつ。 ・上級生として、下級生を楽しませることに喜びや意義をもつ。 ・下級生は、上級生の良さや優しさ、親切や労苦を感じて見習おうとする。			

単元名	数時	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大切な行事を成功させよう ・運動会 ・全校遠足 ・就学時健診 ・音楽会 ・風揚げ大会 ・6年生を送る会 ・ウインター ・篠小学園祭	10	・行事の取組内容を知って見通しをもったり、意義を見出したりして、主体的に参画する。自分たちのアイデアを加えたり、実際の活動を分担したりして、自分たちの手で作りあげていく。自らや自分たちの良さががんばりを効果的に表現するには、どのようにすればよいかを考え、取組に生かす。 ・責任をもってそれぞれの役割をすすめることが活動を成り立たせていることに気付く。 ・大勢が1つのものを作り上げることの大変さと向き合いながら、その楽しさや良さを体験し、成就感を味わう。	・みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 ・合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。
お楽しみ会を開こう ・話し合い・準備 ・実施・振り返り	6	・一人一人の良さや得意を生かし、互いが楽しくすごせるような会にするというめあてを意識して考えを出し合いながら、自分たちの手で企画や準備、運営を行う。 ・様々な意見がある中、時間や場所、道具等限られた条件の中でめあてに合った内容を考える。 ・実施に際しては、決定した計画に沿って実行する体験を通してその良さをわかるとともに、計画の綿密さの大切さを理解する。 ・振り返りの中で、会の運営に貢献した実感を持ち、学級での居場所感を高める。			

単元名	数時	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全					
安全なすごし方を考えよう ・雨の日 ・プールの約束	2	・集団生活においては、ルールを守らないことが、自他を傷つけたり、命に関わったりすることにつながることを知り、危険防止に対する意識を高める。 ・危険な経験を出し合ったり、様々なケースでの望ましい行動の仕方について話し合ったりすることで、安全なすごし方について共通確認し、実行したり声を掛け合ったりする素地をつくる。	・日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	・日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	・自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組む、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。
長い休みのすごし方	毎学期1	・充実した休みを過ごすには、どうすることが大切かについて考えを出し合いつつ、したいことやがんばりたいことを中心に計画を立てる。 ・普段どおりの規則正しい生活を継続しつつ、長期休業だからこそできることに挑戦する意欲をもつ。 ・家族の一員としてできることを考え、家の仕事を分担して取り組む意欲をもつ。			
夏休み報告会 ～思い出・作品	1	・体験やがんばり、作品作りの工夫について、聞き手にわかりやすく話したり、関心をもったことについて感想や質問を通して、会話を弾ませたり、発表の良いところを伝え合ったりする。 ・人にはそれぞれ必ず長所があることに気付かせ、友達の良いところをたくさん発見させることによって、互いの理解を深め、よりよい人間関係の育成を図る。			

単元名	数時	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現					
5年生になって	1	・新学年のスタートにあたり、担任・友達と顔を合わせたり、6年間の中での本学年の位置づけや特徴等を聞いたりして、不安をのぞき期待をもつ。 ・進級したことを喜び合い、新たな課題と向き合いながら、共に仲間として成長していこうという気持ちで、新たに学校生活を始めていく意欲をもつ。	・学校生活を楽しむために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	・学校生活を楽しむために、問題を発見し、解決方法について考えを出したり、受け留めたりしながら合意形成を図っている。	・学校生活を楽しむために、経験を振り返ったり、見通しをもったりしながら自分の考えをしつかりとち、思いを伝えたり、実践したりして、集団活動に取り組もうとしている。
めあてを立てよう	毎学期1	・新学年のスタートにあたり、充実した学校生活を送ることができるよう、めあてを立てる。 ・前の学期の成果と課題を明らかにし、不十分だったことを具体的に上げ、取り戻すようなめあてを立てる。 ・今学期の特徴的な行事や取組内容に関する意欲をもつ。	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	・現在及び将来にわたってよりよく生活するために、振り返ったり見通しをもったりしながら、自己の良さを生かし、他者と協働して自己実現に向けて進んで行動しようとしている。
学期をふりかえって	毎学期1	・学期の終わりにあたり、学期初めに立てためあてを達成し、充実した学校生活を送ることができたか振り返る。 ・個人の成長とともに、高学年としての役割を果たせたか振り返る。 ・成果について、自他のがんばる姿を認め合い、温かい人間関係を育てる。 ・不十分だったことについて、次の学期の課題として、具体的にあげる。			